

日本ESD学会 ESD地域研究会

食文化教育フォーラム in 庄内

～ESD/SDGsの視点から考える食文化～

ESD（持続可能な開発のための教育）の質の向上とSDGsの達成に向けて、学校教育を中心とした研究会を、海の幸や山の幸などの豊かな食材と伝統的な食文化が受け継がれている山形県庄内地方の鶴岡市を会場に開催します。地域の自然環境を活かしながら農業を、そして食文化を持続してきた地域の知恵を通して、持続可能な社会を考えましょう。

Education for
Sustainable
Development

開催日時 令和5年12月15日（金）13:00～17:30

会場 マリカ市民ホール（山形県鶴岡市末広町3-1） ※オンライン配信も行います

対象 教員、学生、一般市民 等（先着100名）

参加費 無料

参加申込 電話または**申込みフォーム**(右のQRコード)
<https://forms.gle/tLQwrDdYLktP5jNh6>



プログラム

I. 基調講演 13:10～14:10

「鶴岡地域の在来農作物の維持について」 山形大学農学部教授 江頭宏昌氏

II. 実践校の発表（発表順未定）14:15～16:25

「外内島きゅうりなど由来作物の栽培などに係る実践発表」

鶴岡市立斎小学校 三浦皆人氏・渡曾 奏氏

「地域特産品を使った災害食の開発 ～災害食が世界を救う～」

宮城県多賀城高等学校 災害科学科

「新しい藻場造成法の研究」

山形県立加茂水産高等学校 阿部清輝氏・富樫琉永氏

「小さなタネがつなぐ地域と子どもたち」

鶴岡市 小堅保育園 池田絵里香氏

≪休憩≫

「和食講座～ユネスコスクールとの連携を通して」（仮）

白石ユネスコ協会 佐々木隆行氏

「気仙沼のローフードに向き合う『海と生きる探究活動』の取組」（仮）

気仙沼市立鹿折小学校 教諭 内海千秋氏

「星めぐりの白菜物語」～地域の食文化を活用した食の学び活動と内発的地域振興～（仮）

仙台大学附属明成高校（未定）

「白杵の豊かな食文化を活かした学校教育について」（仮）

白杵氏教育委員会学校教育課 指導主事 玉ノ井智則氏

III. フォーラムディスカッション 16:30～17:30



お申込み・お問合せ

0235-35-1185（実行委員会事務局 鶴岡食文化創造都市推進協議会）

主催：日本ESD学会、ESD地域研究会 in 庄内実行委員会

共催：宮城教育大学ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアム

後援：鶴岡市教育委員会、鶴岡食文化創造都市推進協議会、酒田ユネスコ協会、仙台ユネスコ協会、山形大学農学部、東北地方ESD活動支援センター、ACCU（ユネスコ・アジア文化センター）（仮）、日本ユネスコ協会連盟（仮）



食文化創造都市
鶴岡